

第3回 統合準備会

日時 令和元年8月29日 午後7時00分

場所 泉陽中学校 2階教室 図書室

内容

- 2 分野別検討 (1)教育分野について
(2)通学分野について
- 3 全体会 教育・通学・PTA・事務・式典 分野別の検討及び状況報告

※連絡事項 次回統合準備会開催日 10月21日19時00分森中学校

進行:学校教育課長補佐

教育分野

発言者	内 容
森中学校教頭	皆様の知恵を集めながら進めて行きたい。
森中学校校長	夏は昨年同様猛暑であったが、学校現場においては夏季休業中であったので事故もなく新学期を迎えられた。 既に、統合に向けて部活動で力を合わせた取り組み、2学期は学校行事などで交流協力をしていく取り組みがある。両校全職員で力を合わせて4月のスタートに向けて整えていきたい。是非温かく見守りいただくようお願いする。
学校教育課長	前回の会議後の意見等について提出があった2件の報告をする。通学分野資料説明。
泉陽中学校 教務主任	生徒たちが導き出したキーワード「感謝」を締めくくりの気持ち。 この地域、諸先輩方、泉陽中学校に対する感謝を表して行けたらいい。表現活動、自分たちで合唱曲を作り、文化発表会で披露したい。作詞作曲をして夏休みにプロに編曲を依頼中。音楽について披露を予定している。何回もありがとうのワードが出てくる。感謝の気持ちを込めて泉祭で披露する。 野球部は4年前から合同チームを作って参加。4年目にして初めて磐周大会で1勝できた。陸上部もこの夏新チームから合同練習している。5名中1名が現在も練習に参加している。厳しい練習をしているのかと感銘を受け、視野が広がった。と言っている。2学期以降、土日中心に交流が進んでいく。生徒は練習は厳しいが、交流は楽しいと言っている。 Tシャツを作ってみんなで着て盛り上げようと考えている。ロードレース大会についても生徒職員全員参加する。 交流は不安だが、疲れたけどいい表情が見えた。出会いによる刺激は子供にとっても大事だと思った。 生徒が英語スピーチコンテストで生徒が統合について発表する。
森中学校教頭	防災計画について、全学校おおよその枠組みは変わらない。心配は災害時の安全の確保について、現行の警報の発令時の対応となる。警報解除時の対応について、足の確保を条件として学校ごとに休校の判断をしている。
三倉小PTA	8時30分までに警報解除すると各家庭は難しい。
森中学校教頭	今までの対応は、祖父母に対応してもらっているのか。
三倉小PTA	大雨で水が多く出るため、雨がやんでも、水が多く出るところがある。危険なので、子供だけで登校は心配。仕事を休む、または、祖父母、近所の知人に頼むなどして、対応している。自力で行くことが大変である。

発言者	内 容
森中学校教頭	森町全体で基準を作っているため、今後、この検討をきっかけに町全体として考えるようにしていく。
学校教育課長	現状対応基準に当てはめて、泉陽中学校の基準を当てはめるよう考えている。登校を自力で考えることが厳しいことを委員から教えてもらった。デマンドバス等で通学を考えるようにした方が良い。情報提供として、ヤマユリ三倉から、田能大久保中野地区の交通機関について協力の提案書をもっている。
森中学校教頭	続いて学用品の対応と、教育委員会から説明を求める。
学校教育課長	予算については10月におおむねの決定をしていきたい。本年度中、学校用品体操服等の支給、森中学校のロッカー、靴箱、自転車置き場について、学用品の対応について検討、今までの物を使用しても良いと方針は確認できているが、子供としてみると、同じ物が良いと考える子もいると思う。上靴、トレーニングウェアの上下各2着。長袖の体操シャツについては森中のみのため、特に用意はしない。ヘルメットは校章のみを支給。対象者は泉陽中学校現在の1・2年生で買い替えが必要な生徒とする。
森中学校教頭	予算の関係は以上となる。その他質問はあるか。
委員から	特になし。教育分野閉会。

通学分野

泉陽中学校校長	<p>生徒たちが導き出したキーワード「感謝」をきっかけ、この地域、諸先輩方、泉陽中学校に対する感謝を表して行けたらいい。締めくくりの気持ちで、表現活動をしている、自分たちで合唱曲を作り、文化発表会で披露したい。作詞作曲をして夏休みにプロへ編曲を依頼。何回もありがとうのワードが出てくる。感謝の気持ちを込めて泉祭で披露する。</p> <p>野球部は4年前から合同チームを作って参加。4年目にして初めて磐周大会で1勝できた。陸上部もこの夏新チームから合同練習している。5名中1名が現在も練習をしている。</p> <p>安全に登校できるように私たちに出来ることを考えていく。現状について説明。29名の生徒が、「残す繋ぐ 天地人」を合い言葉に、体育祭では、揃いのTシャツをつくって一致団結して取り組み、静岡県女子ラグビーチーム「アザレアジャパン」が来る。体育祭の様子をドローンを使って撮影をする。</p> <p>通学分野については、秋葉線、大河内線、吉川線のあたりが課題と思われる。</p>
泉陽中学校教頭	協議に入る。
学校教育課 課長補佐	<p>資料の確認。</p> <p>第2回で出していた意見の説明。三倉町内会長会からは2点の意見があった。①学校名については教育分野で話している。②会議の中でしきりとスクールバスが話題が上がっていたが、経費の関係上難しい、他の過疎地ではデイサービスや福祉の送迎バスに便乗ないし新しい便を出して送迎している。地元としても全て町の予算に頼るのではなく、地元ファンドを立ち上げて運営をすることを検討したらいいのではないかと。</p> <p>三倉小PTA 代表からは、スクールバスについて 三倉地区はバス停から自宅までの距離が非常に遠く、秋葉バスだけでは支障を来す。バス停から自宅までの道は起伏が激しく、中学生の体力でも自力での通学は非常に過酷である。そのため、スクールバス、スクールバス同等の支援が必要との意見があった。</p> <p>NPOやまゆり三倉より提案書が提出されたので報告する。現在大河内線のみでの運行であるが、田能中野大久保地区に朝夕に児童生徒の送迎バスを運行することを提案する内容。</p> <p>出された意見を踏まえて協議に入る。</p>

発言者	内 容
学校教育課 課長補佐	<p>通学費の補助について説明。 この補助金は、天方、三倉地区の制度で、この補助金交付の制度の見直しは統合により見直す物であることから、補助支給期間はR2年4月1日までに生まれた者に限定とする。 今回の見直しは、交通費負担額の65%の補助(現在)を100%補助へと変更する内容。 大河内線は森林組合から森中学校へ最も近いバス停までは乗り換え負担をなくすため無料で運行する。 秋葉線についても森中学校へ最も近いバス停までのバス代の100%を補助する。 バス停から自宅までの距離に対する補助についても説明。 アンケートを以前まとめた中には、自転車通学に対する補助についても要望があったため、検討をしてほしい。</p>
企画財政課長	<p>通学バスの時刻についての説明。 別紙ダイヤの資料を説明。 運転手の労働時間の制約を考え、学校の完全下校時刻を踏まえたダイヤの資料を説明する。</p>
企画財政課 企画係	<p>秋葉線のダイヤについて説明。10月1日から一部ダイヤ改正が予定されている。 森中学校入口がバス停として新たに設置される。登校は7時14分田能入口にてバスに乗り7時38分に森中学校入口へ到着する。徒歩で10分森中学校までかかる。 下校は、17時32分森中学校入口発の三倉方面行き、次の便として18時58分森中学校入口発を利用することになる。 吉川線のダイヤについて説明。運転手については連続運転4時間30分の間に30分の休憩を取らないといけない。行き7時32分落合発7時52分森中学校入口着 10分歩き、8時2分中学校着。 帰りの便、森中学校入口発のダイヤが14時以降各時間1本運行があるが、18時台の運行がないので追加する必要がある。元開橋から延長する必要がある。17時18分森町病院発が最終となっているが、完全下校に間に合わなくなってしまう。19時00分森中学校入口発を増便を考えていく。時期でダイヤの見直しについても検討したい。 大河内線のダイヤについて説明。10月1日から11分早める。森林組合前から森中学校入口まで直行便で運行。中村下以北のバス停からの利用者については、6時57分開郷発に乗った場合、7時34分森中学校入口徒歩にて7時44分森中学校へ到着する。帰りは、12時12分森中学校入口発から1時間に1本運行するが、18時台の運行が無い。19時2分森中学校入口発を利用となる。1時間以上待つようになってしまう。検討が必要。行きは大河内線、帰りは森中学校入口から森林組合前まで秋葉線を使う案も検討すれば待つ時間は減ると考える。</p>
学校教育課 課長補佐	<p>予算対応について 森中学校の自転車置き場増設について本年度補正予算に計上する。通学費補助については来年度当初予算へ計上していく。</p>
町内会長代表	<p>三倉町内会のバス停から自宅までの距離についての意見については反映しているのか。</p>
学校教育課 課長補佐	<p>バス停から自宅までの補助で対応するように考えている。</p>
町内会長代表	<p>休日の部活動についても対応出来ないのか。補助は夏休み等については対象外となるか。</p>
泉陽中学校校長	<p>年間203日が授業日数となる。</p>
学校教育課 課長補佐	<p>250日の補助計算をしているので、授業日数を超える部分については夏休み等の計算となる。</p>
泉陽中学校校長	<p>やまゆり三倉より提案があったが、地域のことは地域で支えることを基本に考えていただいて、今まで見えなかったが、何らかの形となることを期待する。</p>
PTA委員	<p>森中学校入口バス停はどこに出来るのか。</p>
企画財政課長	<p>(上り)赤松の公民館がバス停位置となる。(下り)川側になる。</p>

発言者	内 容
PTA委員	バス停待合室はできるのか。横断歩道は出来るのか。
企画財政課長	横断歩道の設置については公安委員会へ要望を出している。下車する川側のバス停には、待合室の設置は出来ない。帰りは天宮神社の駐車場の屋根がある。
泉陽中学校校長	ダイヤを考えたり、バス停を作ったり、努力をしていただいているところ。検討を進めていき、現在ある条件で対応していくところで考えていく。泉陽中学校では現在、バスを待つ時間教室で宿題をやっている。森中学校でも学校で柔軟に対応していくことが出来ると思う。
企画財政課長	ダイヤ改正案をよく見ていただいて、ご意見質問あれば伝えていただきたい。
泉陽中学校教頭	この後、全体会を開催する。

3 全体会

森中学校校長	教育分野の内容について全体に説明
泉陽中学校校長	通学分野の内容について全体に説明
森中学校教頭	PTA分野について説明。副会長については男女問わず泉陽中学校から1名選出するように話し合っている。運営委員地区委員は天方地区、三倉地区の委員を選出してもらう。
泉陽中学校教頭	事務分野内容について説明。12月に森中へ移動、3月26日27日に大移動となる。
泉陽中学校教諭	式典分野内容について説明。記念誌作成について業者打ち合わせ、記念誌内容、あいさつ、歴史を写真で、在校生徒、卒業生に作文、資料として生徒数の推移等を予定している。
学校教育課 課長補佐	今回は10月21日月曜日森中学校で開催。以上閉会。